

あなたのまちに「〇〇砲台カレー」 を創作してみませんか？

～みんなの砲台 Love を形に！ 城郭ブームに続くのは砲台ブーム？～

◇なぜ、今、砲台！

明治から昭和にかけて我が国の防衛上の要地には、旧陸軍によって砲台が築かれていました。北は函館から南は香岐・対馬まで、地域の名称を関した〇〇要塞として、その実態は秘密のベールにつつまれながら存在してきました。

(⇒函館要塞、東京湾要塞、舞鶴要塞、下関要塞、対馬要塞…)

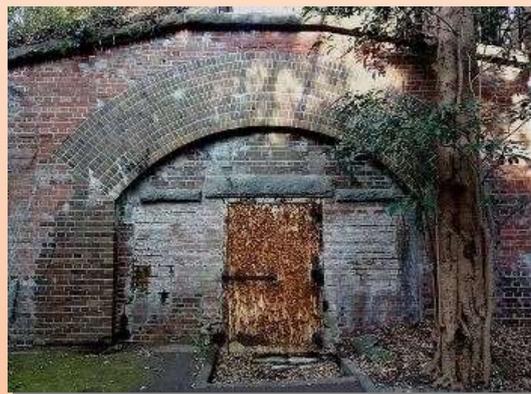
これらの砲台の多くは、歴史の流れのなかで、廃墟として、今にその姿を残しています。

近年、その歴史的価値が評価され、東京湾要塞の猿島砲台と千代ヶ崎砲台が、砲台遺構としては初めて国指定史跡になりました。昨年には、横須賀、呉、舞鶴、佐世保の旧軍港 4 市の海軍に関わるストーリーが日本遺産に認定されましたが、構成文化財のなかに明治期の砲台が含まれています。

更には、和歌山県の友が島砲台（由良要塞）は、その廃墟の佇まいから「ラピユタの島」として注目を集め、大勢の観光客が訪れるようになりました。

このように、砲台遺構には観光資源としてのポテンシャルは高いものがありますが、しかし、まだまだマイナーな存在です。

では、いかにメジャーに育てていくのか？



東京湾要塞三軒家砲台

◇砲台カレーとは！

私は、砲台の一介の研究家ですが、砲台の全国的な知名度を上げるアイデアとして「砲台カレー」を提案しています。

砲台の主役である大砲を、様々な食材を使い、形を工夫することで、また、カレー自体にも地域のアイデアを盛り込むことで、地域ごとにオリジナル砲台カレーが生まれる要素が十分にあると思います。

東京湾要塞を抱える横須賀では、手始めに「観音崎砲台カレー」を創作しました。スパアリブを大砲に見立てたもので、新聞、タウン誌などに取り上げられ話題を集めました。

砲台遺構をお持ちの地域の皆様。砲台をモチーフにしたオリジナルの「〇〇砲台カレー」を創ってみませんか。

全国あちこちで、「〇〇砲台カレー」が生まれてくれば、全国砲台カレーサミットや砲台カレー祭りなど、いろいろな企画が生まれることになるでしょう。マスコミも注目することになります。

地域の歴史資源を使った活性化のアイデアです。ご意見お待ちしております。



観音崎砲台カレー：観音崎京急ホテルで提供



東京湾要塞研究家 デビット佐藤 連絡先: tcdnh830@ybb.ne.jp